

「人権の花」運動 種まき



※新型コロナウイルス感染予防を徹底し、行いました。マスクは記念撮影時のみ外しています。

「人権の花」運動について

「人権の花」運動は、児童が「人権の花」を栽培することにより、命の大切さ、お互いの立場を考え協力し合うことを理解し、思いやりの心を育てていくことを目的として、昭和57年から実施しています。

津山地域人権啓発ネットワーク協議会※1においても、毎年「人権の花」運動を実施しています。

近年「命の重さ・尊厳」を痛感させる事件・出来事が多く発生しており、当ネットワーク協議会においても、「人権の花」運動を通じて、子どもたちが花を育てることにより、命の大切さを実感し、思いやりのある人間に育っていただきたいと考えています。

※1 津山地域人権啓発活動ネットワーク協議会の構成員
岡山地方方法務局津山支局、津山市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西栗倉村、久米南町、美咲町、津山人権擁護委員協議会

「人権の花」運動贈呈式でいただいた花の種まきを、5月7日(金)に富小学校の1～6年生、5月10日(月)に奥津小学校の1年生が、それぞれ実施しました。

児童はとてつもない種をまき、じょうろで水をあげていました。これから、協力しながら花を育て、栽培することで、やさしさや相手に対する思いやりの心を育み、人権への理解を深めてほしいと考えています。



南小学校運動会

6月5日(土)、南小学校の運動会が行われました。

開会式での、「コロナ禍の中ですが、どうしてもやりたかったんです。」という校長先生の言葉通り、緊急事態宣言が発令されていた中での開催となりましたが、保健所の指導による感染防止対策が取られ、生徒たちはこの日までの練習の成果を十分に発揮し、たくさん笑顔が見られました。

当日は各学年分けされた中で競技が行われ、種目も三密対策が意識されたものが中心となりました。競技が終わった学年は教室に戻り、観覧者も入れ替えされ、応援も声出しをやめて拍手で行われました。運動会は会場全体での協力により進められ、青空の下で久しぶりに生徒たちの元気な姿を見ることができました。

6年生の保護者からは、「家で練習している様子を聞いていた。今日まで大変だったと思うが、見られて良かった。」という声が聞かれました。

